

# 北海道 町村会報

4

769号

## 農林水産常任委員会

### 水田活用の直接支払交付金の見直し受け北海道と意見交換会を開催



道町村会は3月24日、米の転作助成となる国の「水田活用の直接支払交付金の見直し」について北海道と意見交換会Ⅱ写真Ⅱを開催した。

## Contents

水田活用直接支払交付金の見直しで意見交換	1
道町村会事業の概要	2
令和4年度町村職員採用資格試験結果	5
道町村会・関係団体機構図	6
時評 瀧野欣彌氏	7
リレーエッセイ 田中占冠村長	10

### 水田活用の直接支払交付金の見直しにおける懸念事項（主な概要）

- ・ 地域農業への影響（経営の圧迫、離農の加速等）
- ・ 国や道からの迅速な情報、今後の動向
- ・ 5年間でブロックローテーション体系の構築は困難、再構築は品質を低下
- ・ 戦略作物助成について現行の35千円の維持
- ・ 畑地化支援に係る予算の確保
- ・ 水稲と転換作物を組み合わせることは困難
- ・ 経営継承を行った場合、再び交付対象水田として取り扱うこと
- ・ 実情にあった補助制度、既存事業の優先枠の設定が必要
- ・ 事業期間中の猶予措置の検討
- ・ 中山間直払い・多面的機能への影響

など

意見交換会には、農林水産常任委員会担当副会長の工藤上ノ国町長、宮本初山別村長、委員長の小野礼文町長、副委員長の佐野北竜町長、委員の山口美深町長、藤澤島牧村長、浜田新得町長、湊屋羅白町長が出席。また、本会副会長で交付対象水田を有する地区町村会長として宮坂厚真町長が出席した。

意見交換では、道内の交付対象水田を有する町村から意見集約した懸念事項一覧（左表）を道農政部に提出したほか、委員らから、「各地域か

らの懸念事項を一つ一つ検証していたとき、農業者が意欲を失わずに営農できるように、地域の実情に応じた柔軟な運用を可能とするよう国への働きかけをお願いする」「現在進行中の区画整理事業等は、営農計画が崩れないよう検討してもらいたい」「交付対象外水田になると土地改良区への負担金が減少し、水利施設等の維持管理が困難になることが懸念される」「激変緩和措置を充実させてソフトウェアインテグしていく方法を考えてほしい」「食料の安全保障

の観点からも北海道として、一生涯命取り組んでもらいたい」などの意見があった。

道農政部の宮田大部長からは、「昨年12月にオール北海道による『北海道連携会議』を立ち上げ、課題の把握を進めている」「見直し期間である5年間のうち1年目がスタートする。道内118の地域を改めて確認していただき、将来的な産地形成を検討してもらふ必要がある」「国はこの5年間で現場の課題を検証しながら見直しを進めるとしているが、町村会などからの意見を踏まえ、制度の運用や必要な予算を国に求めていきたい」「現場は分からないことが一番不安だと思うので、国や道の動向は積極的に情報提供していきたい」などのコメントがあった。

なお、本会では今後も水田活用の直接支払交付金の見直しについて、地域の実情を踏まえた仕組みとなるよう国や道へ意見の申し入れなどを行っていく予定。

## 令和4年度

# 北海道町村会事業概要

道町村会が令和4年度に実施する全町村に関係する主な事業概要は次の通り（新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期など変更の場合あり）。

## 政務活動

### 要請活動

道内町村における諸課題の解決のため、国会議員、省庁、道に対し、本会役員等が要請活動を実施する。

### 政策懇談会

町村行政の重要課題について、情報の共有や課題解決に向け、道及び関係機関との意見交換を行う（10月27日予定）。

## 助成金・交付金

### 人材育成等事業費助成事業

道内の町村又は地区町村会が実施する町村職員の人材確保及び育成に資する事業への助成を通じて、町村職員の資質向上と地域特性を活かしたまちづくりの推進に寄与する（予

算4500万円）。

### まちづくり・人づくり推進交付金

道内の町村におけるまちづくりや人づくり等を積極的に推進するため、町村に交付金を交付し、地域の活性化に寄与する（予算8千万円）。

## 研修事業

### 全道副市町村長セミナー

市町村の行財政運営に資するとともに、本会の各種事業の円滑な推進を図ることを目的としたセミナーを道市町村職員共済組合、(二財)道町村振興財団との共催により開催する（8月4日（木）予定）。

### 人事行政担当課長等研修会

人事行政上必要となる知識の習得や国等における最新動向の把握を目的とした研修を

道市長会との共催により開催する。

### 新採基礎研修、初級職員研修、法務基礎研修及び中級職員研修講師養成講座

地区町村会が実施する悉皆研修（新採基礎研修、初級職員研修、法務基礎研修及び中級職員研修）の講師養成を目的とした研修を行う（7月予定）。

## 広報事業

### 道内旅行誌とタイアップした町村魅力発信事業

多くの方に町村に出向いてもらうことを目的に、(株)リクルート北海道じやらんとタイアップし、道内において多くの方に購読されている道内旅行情報誌「北海道じやらん」の誌面により道内町村の魅力についてのプロモーションを行う。

## 法務支援事業

### 法務実務入門研修

町村からの法務相談事例を題材に、町村において法的課題が生じた際に活用できる考

え方や調べ方など、法的判断に係る実践的なノウハウを学ぶことを目的とした研修を道内11カ所（14地区）で実施する。

### 法務専門研修

道内町村に共通する特定分野の課題について、迅速かつ的確な対応方法を検討するための一助となる研修を実施する。

### 北海道町村会条例研究会

道内14地区相互の連携及び各地区内町村における連携強化を図り、町村の政策立案及び人材育成に寄与するため、自治体に共通する法的課題について、検討すべき論点及び方向性を研究し、その成果を提供する。

## 災害共済事業

### 加入推進運動

公有物件、職員生協等の各種共済、保険事業等について、地区町村会主催の副町村長会議や職員研修の場を活用するなど、積極的な加入推進活動を実施する。

# 令和4年度一般会計可決

災害補償費を見直し  
歳入の適正化を図る

道市町村総合事務組合（管理者・棚野白糠町長）は、3月24日、道自治会館で令和4年第1回組合議会定例会Ⅱ写真Ⅱを開催した。

はじめに欠員となっていた議長選挙が行われ、片岡春雄氏（寿都町長）が当選した。

議案審議では、はじめに条例改正として、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部改正等に伴う市町村消防団員等公務災害補償条例の一部改正、休暇付与に係る期間を改める北海道市町村総合事務組合職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正、嘱託職員に関する規定の削除等の実態に即した北海道市町村総合事務組合特別職の職員の給与に関する条例の一部改正、令和3年人事院勧告に基づく国の改正給与法に準じた北海道市町村総合事務組合職員給与の支給に関する条例の一部改正について

て原案通り可決した。

次に、令和4年度一般会計予算について審議し、歳入歳出総額をそれぞれ前年対比3270万円減の11億3430万円とする予算を原案通り可決した。

これまで発生頻度の低い死亡事案のために毎年計上していた新規遺族補償関連費用は当初予算に計上せずに、不足が生じた場合は財政調整基金を取り崩す方針としたため、前年対比で大幅な減予算となった。消防団員等災害補償費に7420万円（前年対比990万円減）、非常勤職員の災害補償費に5550万円（前年対比1490万円減）を計上した。



## 法務実務入門研修 6月から順次実施

### 職員の法務能力向上へ

道町村会では、町村の法務体制を支援する一環として、町村職員の人材育成を図るため、地区ごとに法務実務入門研修を実施する。

本年度は、6月から10月ま

での5カ月にわたり、14地区11カ所で開催する（日程は左表に記載の通り）。  
なお、開催案内は、各地区町村会を通じ管内町村に対し通知する。

令和4年度 法務実務入門研修開催日程		
日程	地区町村会名	開催地
令和4年 6月 7日（火）	根室町村会	中標津町
令和4年 7月 22日（金）	オホーツク町村会	網走市
令和4年 7月 25日（月）	後志町村会	倶知安町
令和4年 8月 2日（火）	檜山・渡島町村会	江差町
令和4年 8月 9日（火）	胆振町村会	白老町
令和4年 8月 25日（木）	日高町村会	新ひだか町
令和4年 8月 30日（火）	宗谷・留萌町村会	稚内市
令和4年 9月 8日（木）	釧路町村会	釧路町
令和4年 9月 15日（木）	十勝町村会	帯広市
令和4年 10月 12日（水）	上川町村会	旭川市
令和4年 10月 20日（木）	空知・石狩町村会	岩見沢市

（14地区・11カ所開催）

## 全道地区町村会 事務局長会総会を開催

### 新会長に立花上川局長を選任

全道地区町村会事務局長会の総会が4月7日、道自治会館で開催された。

総会では、令和3年度の事業報告及び収支決算、令和4年度の事業計画及び収支予算について審議し、それぞれ原案通り承認・可決されたほか、役員任期満了による互選を行った。

また、道町村会から、①北海道町村会事務局機構及び事務分掌②創立100周年記念式典及び第76回定期総会③新規採用職員基礎研修における職員生協共済事業等の加入推進について説明し、協力を求めた。

このほか、十勝町村会から、町村職員採用試験に係る合同説明会について情報提供がなされた。

#### 役員互選結果

会長 立花 上川町村会局長  
副会長 辻 オホーツク町村会局長  
幹事 福家 後志町村会局長  
監事 八柳 空知町村会局長

3・4月の町村長選挙

上砂川町・奥山 氏  
 栗山町・佐々木 氏  
 新ひだか町・大野 氏  
 南富良野町・高橋 氏  
 浜頓別町・南 氏

枝幸町・村上 氏  
 日高町・大鷹 氏  
 安平町・及川 氏  
 七飯町・杉原 氏  
 洞爺湖町・下道 氏  
 大空町・松川 氏

3選  
 2選  
 初当選

3・4月は11町で選挙が行われ、6町で現職が再選を果たし、5町で新人が当選を果たした。

3月22日に告示された日高管内日高町長選は、現職の大鷹千秋氏以外に届け出がなく、同氏の無投票再選が決まった。同じく3月22日に告示された渡島管内七飯町長選は、いづれも新人の前町民生部長の杉原太氏、前町議の中川友規

氏、前町土木課長の佐々木陵二氏、会社代表の日下道子氏の選挙戦となり、27日開票の結果、杉原氏が初当選を果たした。

3月29日に告示された宗谷管内枝幸町長選は、現職の村上守継氏以外に届け出がなく、同氏の無投票3選が決まった。

4月5日に告示された空知管内栗山町長選は、現職の佐々木学氏以外に届け出がなく、同氏の無投票再選が決まった。

同じく4月5日に告示された南富良野町長選は、新人で前町副町長の高橋秀樹氏以外に届け出がなく、同氏の無投票初当選が決まった。

同じく4月5日に告示された胆振管内洞爺湖町長選は、現職の真屋敏春氏と新人で前町議の下道英明氏の選挙戦となり、10日開票の結果、下道氏が初当選を果たした(※)。

4月12日に告示された空知管内上砂川町長選は、現職の奥山光一氏以外に届け出がなく、同氏の無投票3選が決まった。

同じく4月12日に告示された胆振管内安平町長選は、現職の及川秀一郎氏以外に届け

出がなく、同氏の無投票再選が決まった。

同じく4月12日に告示された日高管内新ひだか町長選は、現職の大野克之氏以外に届け出がなく、同氏の無投票再選が決まった。

同じく4月12日に告示された宗谷管内浜頓別町長選は、新人で前町副町長の南尚敏氏と、同じく新人で前町議の淡路敏昭氏の選挙戦となり、17日開票の結果、南氏が初当選を果たした(※)。

同じく4月12日に告示された才ホーツク管内大空町長選は、新人で前町総務課参事の松川一正氏以外に届け出がなく、同氏の無投票初当選が決まった(※)。



おおた たちき  
 大鷹 千秋

①昭和31年10月3日生②(旧)門別町出身③國學院大卒④2回当選

平成29年4月(旧)門別町農業協同組合監事、平成30年4月日高町長初当選、令和4年4月2選

七飯町長

すぎはら ぶとし  
 杉原 太



①昭和38年2月24日生②七飯町出身③函館西高等学校卒④1回当選

平成24年4月町政策推進課長、平成30年5月町民生部長、令和4年4月七飯町長初当選

枝幸町長

むらかみ もりつぐ  
 村上 守継



①昭和20年11月2日生②(旧)歌登町出身③歌登中学校卒④3回当選

平成19年4月町副町長、平成26年4月枝幸町長初当選、令和4年4月3選

栗山町長

ささき まなぶ  
 佐々木 学



①昭和37年8月16日生②三笠市出身③三笠高等学校卒④2回当選

平成29年5月町副町長、平成30年4月栗山町長初当選、令和4年4月2選

南富良野町長

たかはし ひでき  
 高橋 秀樹



①昭和37年9月18日生②南富良野町出身③富良野高等学校卒④1回当選

平成19年4月町総務課長、平成25年11月町副町長、令和4年4月南富良野町長初当選

上砂川町長

おくやま こういち  
 奥山 光一



①昭和33年6月18日生②上砂川町出身③砂川北高等学校卒④3回当選

平成22年5月町副町長、平成26年4月上砂川町長初当選、令和4年4月3選

安平町長

おいかわ しゅういちろう  
 及川 秀一郎



①昭和40年3月28日生②(旧)追分町出身③日本大学卒④2回当選

平成24年12月町教育委員会次長、平成30年4月安平町長初当選、令和4年4月2選

新ひだか町長

大野 克之  
おのの かつゆき



①昭和34年1月3日生  
②静内町出身  
③静内高等学校卒業  
④2回当選

平成27年4月道農政部長、平成30年4月新ひだか町長初当選、令和4年4月2選

※松川氏、下道氏及び南氏の紹介について

松川氏の大空町長及び下道氏の洞爺湖町長の任期開始日が4月23日、南氏の浜頓別町長の任期開始日が4月27日であり、本会報発行日までに顔写真等の情報入手ができなかったため、松川氏、下道氏及び南氏の紹介は次号に掲載します。

### 「町村トピックス」欄の情報提供ご協力をお願い

本会では、毎月発行の北海道町村会報で、道内町村の施策や取り組みを「町村トピックス」として紹介していますので、掲載情報をご提供願います（提供先：総務部）。ただし、毎月2町村分の枠で掲載しているため、ご提供いただいた話題を必ずしも掲載できるとは限りませんので、予めご了承願います。

掲載文：260字程度（写真1枚掲載）  
※写真を掲載しない場合は、360字程度

## 令和4年度町村職員採用資格試験結果について

道町村会は、昨年実施された令和4年度町村職員採用資格試験（令和4年4月1日採用）の結果を取りまとめた。

受験者総数は、1246人で、各町村等における4月1日付採用者は398人、最終競争倍率は3.1倍であった。

前年との比較では、受験者は211人減、採用者は8人減、競争率は0.5ポイント減となった。

管内別では受験者数が多かったのは、十勝管内の245人、次いで上川管内の172人、オホーツク管内の119人の順となった。

4月1日付採用者数では、十勝管内の92人、上川管内の62人、オホーツク管内の41人の順となった。

競争倍率では、石狩管内の11.3倍が最高で、胆振管内の4.0倍、渡島・檜山管内（合同実施）及び釧路管内の3.7倍と続いた。

また、令和4年度町村職員

## 令和4年度 町村職員採用資格試験結果

管内	上級（大学卒程度）				初級（高校卒程度）				計			
	受験者	一次試験合格者	4/1付採用者	競争倍率	受験者	一次試験合格者	4/1付採用者	競争倍率	受験者	一次試験合格者	4/1付採用者	競争倍率
石狩	57	34	5	11.4	33	20	3	11.0	90	54	8	11.3
渡島 檜山	56	27	13	4.3	52	30	16	3.3	108	57	29	3.7
後志	31	25	14	2.2	56	31	21	2.7	87	56	35	2.5
空知	52	34	18	2.9	58	37	15	3.9	110	71	33	3.3
上川	71	40	23	3.1	101	82	39	2.6	172	122	62	2.8
留萌	11	9	4	2.8	13	10	6	2.2	24	19	10	2.4
宗谷	22	19	10	2.2	21	17	9	2.3	43	36	19	2.3
オホーツク	35	28	15	2.3	84	47	26	3.2	119	75	41	2.9
胆振	20	10	6	3.3	64	33	15	4.3	84	43	21	4.0
日高	8	4	4	2.0	35	19	8	4.4	43	23	12	3.6
十勝	116	58	39	3.0	129	70	53	2.4	245	128	92	2.7
釧路	48	24	10	4.8	37	21	13	2.8	85	45	23	3.7
根室	19	15	4	4.8	17	15	9	1.9	36	30	13	2.8
合計	546	327	165	3.3	700	432	233	3.0	1,246	759	398	3.1
昨年度	598	353	147	4.1	859	537	259	3.3	1,457	890	406	3.6

採用資格試験の全道統一試験は、基本試験日を令和4年9月18日（日）としているが、

各地区町村会の事情によって別日程とすることも可能としているため、詳細は本会ホームページ

ムページで情報提供することとしている。

※十勝管内の1次合格者数は、筆記試験合格者に対し実施した2次試験（町村共同実施の面接試験）合格者数としています。

# 北海道町村会事務局・ 関係団体機構図

(令和4年4月1日現在)



## ●北海道町村会

- 総務部・・・・・・・・・・011-241-7181
- 政務部・・・・・・・・・・011-241-7182
- 法務支援室・・・・・・・・011-241-7188
- 災害共済部・・・・・・・・011-241-7184
- 出納室・・・・・・・・・・011-241-7183
- F A X・・・・・・・・・・011-221-0543
- 災害共済部F A X・・・・・・011-207-6031
- 【HPアドレス】 <http://www.h-chosonkai.gr.jp/>

## ●北海道町村会東京事務所連絡室

- 直 通・・・・・・・・・・03-3580-6093
- F A X・・・・・・・・・・03-3592-7654

## ●北海道市町村総合事務組合

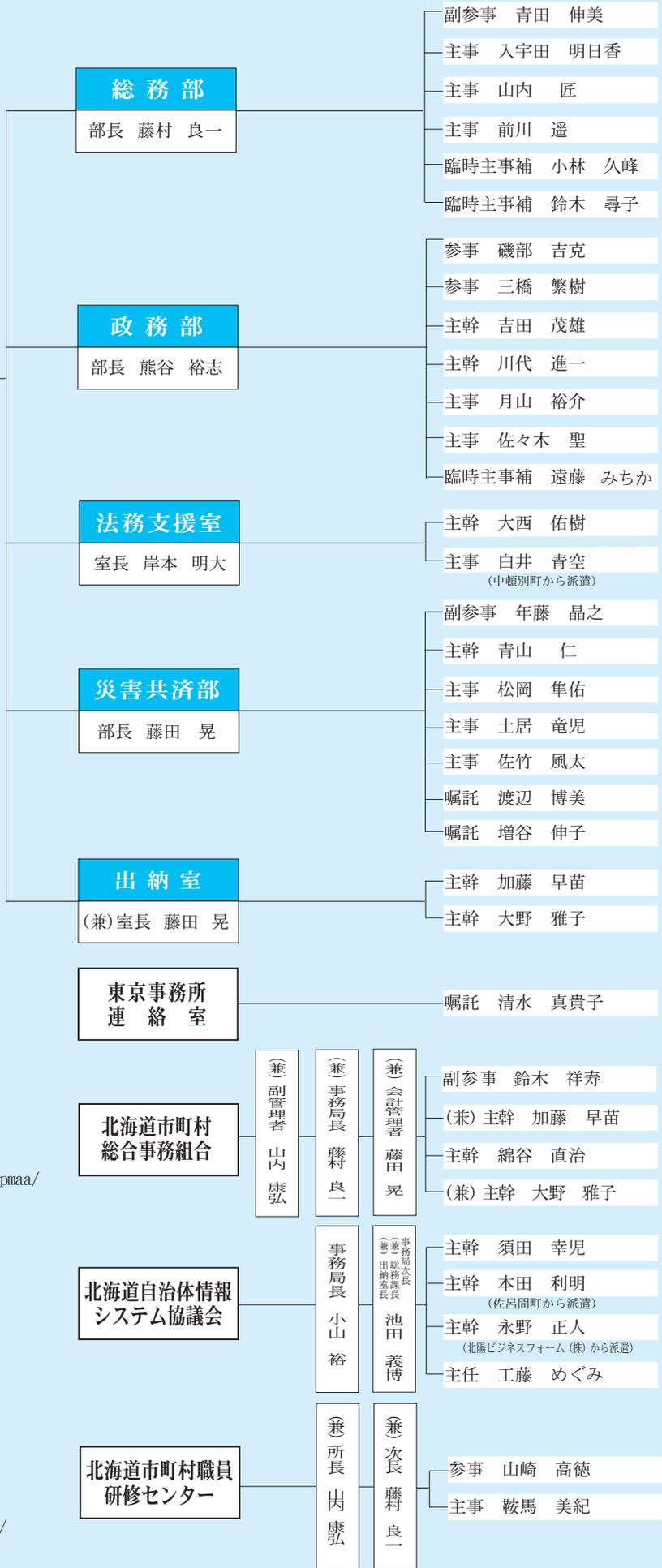
- 直 通・・・・・・・・・・011-241-7210
- F A X・・・・・・・・・・011-221-0543
- 【HPアドレス】 <http://www.h-chosonkai.gr.jp/hpnaa/>

## ●北海道自治体情報システム協議会

- 直 通・・・・・・・・・・011-700-2277
- F A X・・・・・・・・・・011-700-5010
- 【HPアドレス】 <http://www.j-center.com/>

## ●北海道市町村職員研修センター

- 直 通・・・・・・・・・・011-241-7301
- F A X・・・・・・・・・・011-241-7303
- 【HPアドレス】 <http://www15.plala.or.jp/HSSKS/>



# 道町村会・関係団体人事

## 北海道町村会

4月1日付

▼政務部参事(災害共済部副参事)三橋繁樹▼災害共済部

去る2月21日、日本経済新聞と日経センタ―は、コロナ後に向けた医療行政について、緊急提言を行いました。その内容としては、①医療提供体制の再構築②医療イノベーションの早期承認③社会保険の負担・給付の水準の3点が挙げられています。

まず、第一の点については、新型コロナウイルスについては、インフルエンザなどと同様の普通の感染症に位置付け、ワクチン接種に自己負担を導入するとともに、緊急時には、政府に一元的な司令塔を創設するほか、病床確保のため、政府・自治体のコントロールが民間病院にも及ぶようにすべきとしています。そのため、政府・自治体が市中のクリニックも含めて、人材・資源を瞬時に把握し、重症者を遅滞なく搬送できる体制を構築する必要性を強調してい

真貴子▼災害共済部嘱託(再任用) 渡辺博美▼災害共済部嘱託(再任用) 増谷伸子

北海道自治体情報  
システム協議会

4月1日付

▼主幹(佐呂間町から派遣) 本田利明

ます。  
第二の医薬品等の早期承認については、我が国の新薬の治験が民間主導であり、危機管理の面で問題があることから、国主導の治験の道を拓くとともに、アメリカなどで採用されている新薬の緊急使用

### 時評

## コロナ後の医療行政

許可の制度の導入を提言しています。

第三の国民負担については、現在既に社会保険料負担は労使の合計で30%に近づき、限界であるとしています。したがって、今後は、消費税等の安定財源の確保が必要に

識が低下し、後世代への負担の先送りや現下の負担を回避する傾向が顕著です。

コロナ禍の対応で最前線を担っている地方自治体としても、以上の緊急提言は、いずれも重要な課題であると思えます。これらのうち、国と地

3月31日付

▼派遣を解く||共和町へ帰任(主事) 佐藤圭介

## 地区町村会

4月1日付

▼石狩町村会事務局長(採用)

方の役割分担については、地方制度調査会での議論が始まっていますし、新薬の緊急承認についても、現行法下でどこまで可能かも含め幅広い検討が行われています。また、財政の問題については、現下のコロナ対応に加え、ロシアのウクライナ侵攻で世界経済の先行きが極めて不透明となる中、現段階では未だ議論の俎上に上がっていませんが、いずれ、日銀の金融の異次元緩和の収束の在り方ともいと思えます。地方行政を担当する者としても、大きな時代の転換点にあるとの認識を持ちながら現下の行政の在り方を見直す必要があります。

### 瀧野 欣彌

(一財) 地方財務協会(会長)

中出徳昭▼渡島町村会主事(再任用) 紺野ひろみ▼檜山町村会事務局長(採用) 伊勢昭彦▼檜山町村会主事(採用) 瀧澤喜穂子▼後志町村会主事(余市町から派遣) 小林宥斗▼オホーツク町村会事務局長(採用) 鈴木聡▼オホーツク町村会主事(任用) 森いずみ▼胆振町村会事務局長(採用) 松本一宏▼日高町村会事務局長(採用) 東利彦▼十勝町村会主事(中札内村から派遣) 柴田翔太郎

3月31日付

▼退職(石狩町村会事務局長) 滝本隆志▼退職(渡島町村会主幹) 紺野ひろみ▼退職(檜山町村会事務局長) 佐藤正秀▼退職(檜山町村会主事) 田中いずみ▼退職(オホーツク町村会主幹) 中村史子▼退職(胆振町村会事務局長) 藤野一清▼退職(日高町村会事務局長) 駒澤一由▼派遣を解く||倶知安町へ帰任(後志町村会主事) 渡部健利▼派遣を解く||豊頃町へ帰任(十勝町村会主事) 宮澤航太

# 令和4年度市町村職員研修募集開始

道市町村職員研修センター

道市町村職員研修センターでは、令和4年度も新しい地方行政に対応できる職員を育成すべく、市町村や地区町村会研修と連携・機能分担を図りながら、効率的かつ効果的な研修を実施する（新型コロナウイルス感染症による影響で変更となる場合あり）。

## 令和4年度の研修体系

◎は道職員との合同研修

	一般係員	監督者		管理者
	(採用後3年以上)	係長	課長補佐	
一般研修	民法 行政法 地方自治法 地方公務員法	管理能力		
	財務諸表と財務分析	指導能力		自治体新任管理者基礎
		人事評価者訓練 リスクマネジメント 組織のタイムマネジメント		
	防災・減災対策 マイナンバー制度			
政策研修	窓口対応マナー			
	女性職員キャリアビジョン 個人のタイムマネジメント	25歳以上の 職員対象		
	◎地域ブランディング ◎自治体法務（解釈・運用） ◎自治体法務（条例立案）			
採用後4年以上 10年以下	◎政策形成基礎講座	◎地域力向上 政策形成（中級）		
専門実務研修	法令実務（基礎）			
	法令実務（応用）	23歳以上の職員対象		
	税務事務（基礎）《市町村民税課税》 税務事務（基礎）《固定資産税課税》 税務事務（基礎）《徴収》			
	税務事務（応用）《市町村民税課税》 税務事務（応用）《固定資産税課税》 税務事務（応用）《徴収》			
	財政実務・資金管理 自治体の契約事務 統一的な基準による地方公会計制度 自治体債権回収			
能力開発研修	◎プレゼンテーション（一部道職員との合同研修含む） ◎コミュニケーション能力向上 クレーム対応 問題発見・解決 業務改善（カイゼン）手法 折衝力・交渉力強化 職場で活かす創造性開発 文章作成能力向上			
	コーチング			
養成研修	○J T指導者養成			

【お問い合わせ先】北海道市町村職員研修センター

<住所>札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館9階

<メール> [sityoson@h-center.jp](mailto:sityoson@h-center.jp) <ホームページ>

<TEL> 011-241-7301 <FAX> 011-241-7303

<http://www15.plala.or.jp/HSSKS/>

北海道  
町村会

3月の活動日誌

- 1日 ▼北海道自治体情報システム協議会理事会
- 9日 ▼北海道社会福祉協議会臨時評議員会（WEB会議）（常務理事）
- 10日 ▼全国町村会政務調査会（東京都・会長ほか）
- 16日 ▼北海道農業会議常設審議委員会（北竜町長）
- 17日 ▼北方領土復帰期成同盟理事会（事務局長）▼専門医制度等に関する検討委員会（WEB会議）（常務理事）
- 22日 ▼北海道地域活動振興協会評議員会（常務理事）
- 24日 ▼水田活用の直接支払交付金の見直しにおける北海道との意見交換（礼文町長ほか）▼北海道国際交流・協力総合センター理事会（WEB会議）（常務理事）
- 30日 ▼北海道女性協会理事会（常務理事）
- ▼北海道市町村総合事務組合議会定例会

# 火災共済のご案内



## 火災共済の主な特長

- ・火災や落雷、外部からの衝突などの損害に対応  
※地震、津波及び噴火による損害は共済金の給付対象外（地震等災害見舞金で対応）
- ・風水雪害も20万円以上の損害で、最大10/100を給付。  
※免責額について、令和4年4月1日以降に罹災のあった案件より、50万円未満から、20万円未満に引き下げ
- ・さらに風水雪害特約の加入により給付率50/100を上乗せ  
（ただし、特約共済金は建物50万円以上、動産20万円以上の損害が対象）
- ・全国の町村職員数のスケールメリットを生かした割安な掛金。

火災共済掛金（年額）は1口10万円につき60円

契約額の最高限度額は600口（建物400口、動産200口）6,000万円まで

※借家の場合は、動産のみ加入が可能

※加入口数は下記の「再取得価額の目安」を参考に

建物	木造 (モルタル・軽量鉄骨等)	14万円/㎡ ※物置等 7万円/㎡	動産	共済契約者及び同居者 20歳以上の家族	1名につき 350万円
	耐火造 (鉄筋コンクリート等)	22万円/㎡		共済契約者及び同居者 20歳未満の家族	1名につき 250万円

例) 延床面積95㎡の木造住宅の再調達価額  
…… 95㎡×14万円=1,330万円

※ 共済金請求の際は家財の再取得価額を申告していただき、その価額を基にして共済金を算出します

## 風水雪害特約の付加で上乗せ給付

- ・火災共済の掛金一口60円（年額）に50円（年額）を上乗せで、風水雪害特約を付加。給付の上乗せでさらなる安心！  
※適正な口数の契約で、損害復旧費用（再取得価額）の最大50/100を特約共済金として支払い

# 自動車共済・プラス保険（車両保険等）のご案内



## 自動車共済の主な特長

- ・年齢条件や事故等級がないので、一律の掛金で、退職後も加入可能！（退職組合員要件あり）
- ・同居のご家族や進学で別居されているお子様（扶養家族）のお車も加入できます。
- ・事故・故障で自走できない場合のレッカー対応など、ロードサービス（無料）も自動付帯！  
◇ レッカーけん引 …… 1回につき100kmまで無料  
◇ 応急処置 …… 1回につき30分程度の作業費用が無料

【保障内容・掛金例（B型）】

車種区分	普通・小型乗用	軽自動車	自動二輪車 (125cc超)	原付自転車 (125cc以下)
共済掛金（年額）	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円
保障内容	対人賠償	無 制 限		
	対物賠償	無 制 限		
	自損事故	■死亡共済金：1,500万円 ■医療共済金：入院1日6,000円、通院1日4,000円 など		
	限定搭乗者	■死亡共済金：1,000万円 ■医療共済金：入院1日6,000円、通院1日4,000円 など		
他車運転特約	あり		なし	

## プラス保険（AIG 損保の一般用総合自動車保険）でさらなる上乗せ補償

- ・生協自動車共済への加入を条件に車両保険や人身傷害保険を自由にプラス
- ・生協自動車共済での無事故期間（最大5年間）に応じ、無事故割引を適用

### <問い合わせ等>

- 町村生協共済に関するお問い合わせは…北海道町村会災害共済部 ☎011-241-7184
- 火災・自動車共済の詳細については…北海道町村会HP (<http://www.h-chosonkai.gr.jp/>) 災害共済部の全国町村職員生活協同組合共済事業の「加入のご案内」に掲載しておりますのでご参照ください



占冠村長 田中 正治

今年、本村は120年を迎えます。これまで先人たちが悲願とし、努力してきたひとつが地域公共交通の確保です。

本村は「陸の孤島」と呼ばれた時代を経て、鉄道、道路が飛躍的に整備され、特急の停車する駅2カ所、高速道路インターチェンジ2カ所を有する全国的にも珍しい自治体となり、本村の経済、産業に大きな影響を与えました。

国鉄最後の新線と言われた「石勝線」が開通見込みとなったのを機に、トマムリゾート開発が行われ、開通に合わせて開業しました。リゾート法の存廃、運営会社の変更など様々な変遷を経て、コロナ禍前の年には延べ66万人が宿泊するまでに成長しました。

道路は国道237号が縦断し、道道夕張新得線が横断する形で走っており、四方を峠に囲まれ山を越えなければならない環境でありました。こうした中、高速道路道東道が開通し、多くの方が訪れる機会が増える地域となり、観光入込者数で176万人を数え、「道の駅自然体感じむかっぷ」は賑わいを増し、地域全体の経済活動にも大きな

影響を与えています。

一方で、少子高齢化が進む中で、通学、通院、買い物などの交通機関の確保のため、富良野市を中心とした都市への交通として村営バス、高齢化に対応した乗合タクシー（むらびと交通）、地域内を回る巡回バスを運行するなど政策的な様々な対応が求められる現状にあります。

地域で暮らし続けるためには必要な政策であり、持続可能な地域として守っていくためにはなくてはならないことだと思っています。

近年、全道各地で鉄道存続の議論がされ、本村においても「根室本線」の方向性について検討されています。地域で暮らすための公共交通であり、地域の存続に関わる大事な政策でもありますので、丁寧な検討が必要と思っています。将来どういう方向へ進むのか北海道全体の課題だとも思っています。

地域公共交通の在り方次第で、地域の繁栄に大きく関わってくることは、今も昔も変わっていないのではないかと私は考えています。

(次は、留寿都村長の佐藤ひさ子氏にバトンタッチします。)

## 町村TOPICS

### 当別町 | 道内の在来線で20年ぶりの新駅「ロイズタウン駅」が開業

本町では、JR学園都市線あいの里公園～太美駅間に新駅「ロイズタウン駅」が3月12日に開業しました。

本駅は、令和2年1月に本町と株ロイズコンフェクトが連名で設置を要望した請願駅です。札幌駅からの所要時間は約30分で、駅の外観はロイズふと美工場をイメージした青と白、内装は町の木である白樺を使用しています。

町では、ロイズふと美工場内にリニューアルオープンした直営店や現在整備中の見学施設と道の駅とうべつを周遊する新たな人の流れを創出し、新たなまちの顔として町のPRと交流人口・定住人口の増加を目指します。



### 安平町 | 安平町と(株)FoundingBaseとの連携に関する包括協定について

本町は、令和3年11月4日に地方創生に関するまちづくりや地域活性化、地域コミュニティに関することなどに対し、(株)FoundingBaseと包括協定を締結しました。



平成30年北海道胆振東部地震発生直後の平成30年11月1日から3年間、地域活性化起業者として同法人共同代表である林賢司氏を任命し、震災復旧から復興、そして、教育事業、移住定住、起業創業などのまちづくりにおける地域課題解決の取り組みを行ってきました。

その取り組みを持続可能なものとするため、本協定に基づき、町の目指すべき将来像である「育てたい 暮らしたい 帰りたい みんなで未来へ駆けるまち」の実現に向けた取り組みを展開していきます。